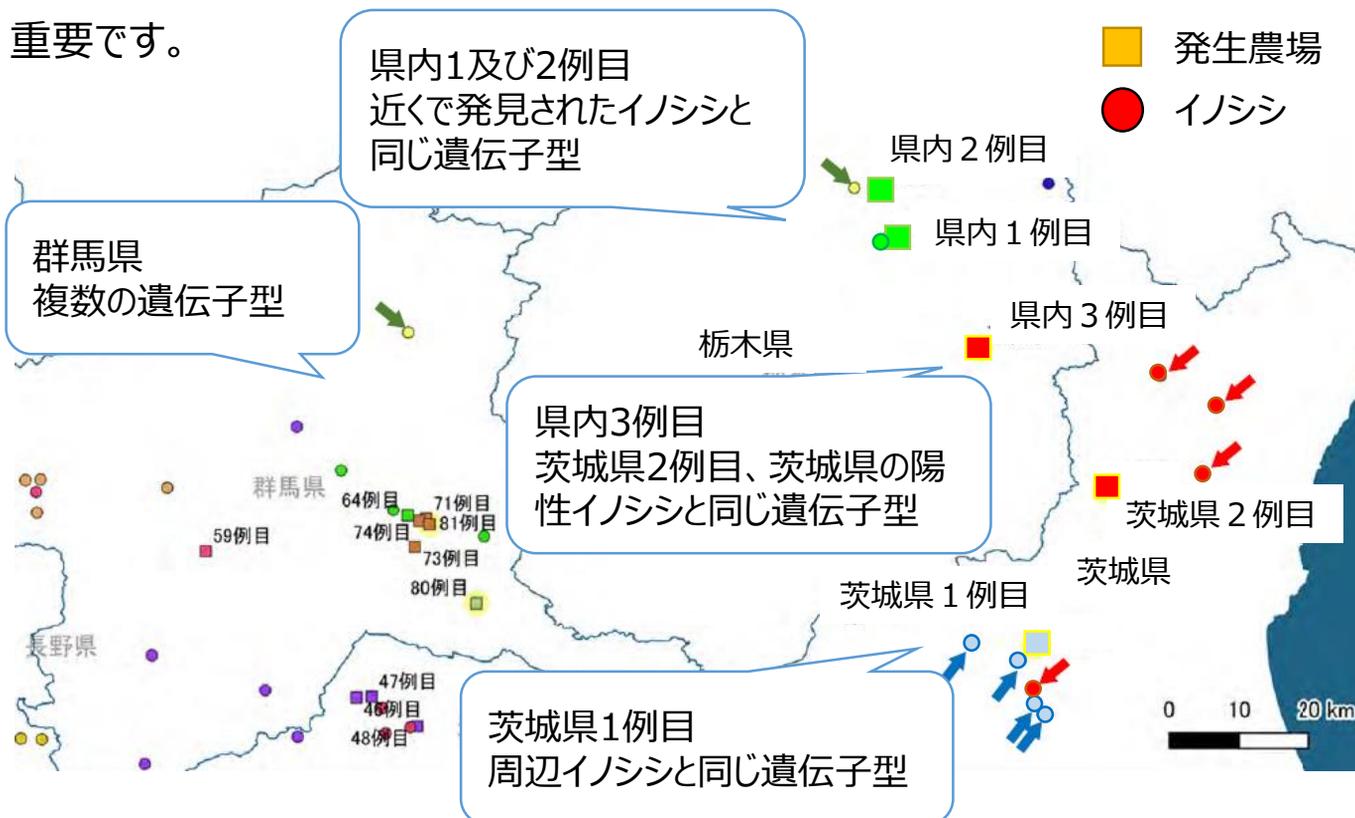


豚熱ウイルスの遺伝子型が公表されました

令和4年6月までの豚熱発生農場から検出されたウイルスの遺伝子解析が公表されました。発生農場のウイルスは、農場周辺で確認された陽性イノシシと同じ遺伝子型でした。農場へ、ウイルスが侵入することを防止する対策を徹底することが重要です。



山口県で確認されたイノシシの遺伝子型は、三重県で確認されたものと似ていることも判明しました。人や物を介してウイルスが運ばれた可能性が高いと考えられます。

<確認するポイント>

- ① 農場や豚舎を出入りする際の長靴や衣服の交換の徹底
- ② 野生動物の侵入防止対策の確認
- ③ 豚が触れる資材や通路は消毒してから使用

県央家畜保健衛生所 宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)

県南家畜保健衛生所 栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)

県北家畜保健衛生所 那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)

豚熱ウイルス侵入防止策の再確認を！

▼令和3年7月～令和4年6月に発生した豚熱の調査結果がまとまりました。

▼まずは、**離乳豚の感染防止対策を徹底**しましょう。

1 農場や豚舎 出入り時の衛生対策 確実に

▼公道を通ったときは、再度消毒

▼豚舎「内」「外」で、衣服・長靴置き場所をきちんと区別



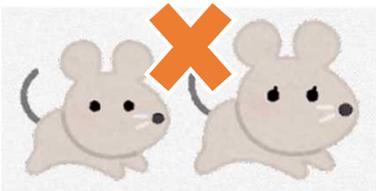
2 野生動物侵入防止（ネズミ・ネコ含む）

▼防鳥ネットを隙間なく設置しているか ▼壁に穴がないか

▼定期的に確認 ▼すぐに修繕

▼ユニットタイプの豚舎もネットをしっかりとかけて

※ネズミやネコなどの動物の糞でPCR陽性が確認された事例もあります。



3 豚が触れる資材等 消毒してから使用

▼豚が直接触れるケージや通路は、必ず洗浄・消毒

▼特に、使用する直前、必ず消毒



4 子豚の管理と早期通報 徹底

▼初乳を十分に飲ませる ▼健康観察を徹底

※ワクチン接種により症状がわかりにくい場合あり。

おかしいと思ったらすぐに通報を。

5 ワクチン接種は最新の検査結果に基づく接種適期に

県央家畜保健衛生所 宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)
県南家畜保健衛生所 栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)
県北家畜保健衛生所 那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)